



北区の部屋だより 第179号



2024年7月



刊行物登録番号5-2-167

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」 〒114-0033十条台1-2-5 Ⅸ03-5993-1125 令和6年7月発行

北区こぼれ話 第179回

渋沢栄一と福沢諭吉の少年時代 —祈禱師の嘘を見破る—

令和6年(2024)7月3日、渋沢栄一の肖像による新一万円札が発行されます。さようなら福沢諭吉先生。あまりご縁がありませんでしたが、お世話になりました。

さて、この二人には紙幣の顔以外にも、様々な共通点があります。ともに天保の時代に生まれ、幕末に青年期を迎え、民間の立場から日本の近代化に尽力したという点です。そして、資料的に似た部分もあります。それは、ユニークな語り口の自伝を残したという点です。渋沢の自伝の名は『^{あまよがり}雨夜譚』です。福沢のものは『^{ふくおう}福翁自伝』です。維新の激動期を生き抜いた人々には、人生を語ることが求められたのでしょう。勝海舟の『^{ひかわせいわ}氷川清話』などもその例です。

渋沢と福沢の自伝では、少年時代の記述に面白い共通点があります。それは「^{まとうし}祈禱師の嘘を見破る」というエピソードです。渋沢の場合は、病気がちな姉のために、祈禱師の男が家に呼ばれました。その男は、渋沢家で炊事をしていた女性に目隠しをし、呪文を唱え始めました。すると、その女性は神に^{ひょうい}憑依されたような状態になり、この家には無縁^{ぼとけ}仏が崇めているなどと語り始めました。一種の催眠状態のようなものでしょう。渋沢少年が「では無縁仏の没年は何年前のことか」と尋ねると、その女性は「およそ5、60年前」と答えました。すかさず渋沢は、その年号を問いました。すると、天保3年と答えたのです。彼は、それでは23年前のことになる。神様が年号を間違えるのはおかしいと、インチキを見破ったという意味の回想をしています。

『福翁自伝』にも、似たような記述があります。福沢少年は、神社の御札^{おふだ}を踏んだり、ご神体をすり替えたりして、それでも罰は当たらないと面白がっていました。ある日、福沢家に、女性が訪ねてきました。その人は、誰にでもお稲荷様を憑依させることができると言うのです。人に御幣^{ごへい}を持たせ、その御幣が神の力で自然に動き出すのだそうです。福沢少年が「^{おれ}乃公がその御幣を持とう」と言ったところ「坊さんはイケマヘン」(大阪弁)と拒否されました。そこで「今誰にでも言ったじゃないか、サアやって見せろ」と困らせたとあります。福沢が相手では、^{ぶん}分が悪いと感じたようです。

渋沢も福沢も、自らを科学的な判断力を持った少年だったと強調したかったのです。西洋文明を取り入れる前から、自分は合理的な思考をしていたのだという主張です。「時代が俺に追いついた」という開明的リーダー像です。おそらく、それが文明開化や近代化を推進した人々に共通する自負だったのでしょう。

(地域資料専門員 黒川徳男)



北区の部屋
今月の展示

旧岩淵水門と荒川放水路
- 通水 100 年 重要文化財指定へ -

■ 展示期間：6月28日（金）～7月24日（水） ■ 展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

大正13年（1924）に旧岩淵水門が完成し、今年で100年になります。この記念の年に、旧岩淵水門が国の重要文化財に指定されることが決まりました。

明治43年（1910）の関東大水害を契機に、東京を大水から守るべく造られた旧岩淵水門と荒川放水路。古い水門はその役目を終え、昭和57年（1982）から新たな岩淵水門（青水門）が活躍しています。現在では、地球温暖化による降雨量の増加や台風被害の甚大化による河川の氾濫が懸念され、水門や放水路の重要性はさらに高まってきています。

北区の部屋では、旧岩淵水門通水100周年と国重要文化財指定の答申を記念して展示をおこないます。ぜひ、ご覧ください。



赤く塗られる前の旧岩淵水門の絵葉書

渋沢栄一に
会いに行こう

～7月3日、渋沢栄一の新一万円札が発行されます～
新紙幣発行記念 関連展示のご案内

【特設展示期間】7月24日（水）まで

❁ 一般むけ 『続百代の过客』で読む「航西日記」
「お札とお札になった人々」

過去の新紙幣発行時の新聞記事、関連図書 など

【場所】中央図書館1階エントランス及び
総合カウンター前

❁ 児童むけ 「日本経済界の父・飛鳥山と縁が深い
渋沢栄一がお札になった！」

【場所】区内各図書館児童コーナー

【常設展示】関連書籍、DVD「青天を衝け」など

【場所】中央図書館「北区の部屋」

平和祈念週間

北区では、1986年（昭和61）に制定した平和都市宣言を記念して、8月6日から10日を**平和祈念週間**と位置づけ**平和展**を実施します。北区立中央図書館は❁**2つの展示**❁で参加します。

【開催場所】北とぴあ地下1階 展示ホール

【開催期間】8月6日（火）～10日（土） 10時～18時（10日のみ16時まで）

テーマ①『戦争と北区の子どもたち』 黒川地域資料専門員

②『ドナルド・キーンと平和2024』 北区図書館活動区民の会

※①は8月11日（日）から、②は8月6日（火）から中央図書館で展示します。

期間は①②とも8月31日（土）までです。

北区図書館は <平和図書コーナー> を開設し、本を通じて平和について考えるきっかけになるような本を集め展示します。

【期間】7月26日（金）～8月31日（土）休館日除く

【場所】（一般書）中央・滝野川・赤羽図書館

（児童書）図書館全館（子ども室・子どもコーナー等）

